

<校務利用> ⑦ 出席確認アプリを作成する

・生成AIを利用することで期待されること
 生成AIを使用し、コードを書かせることによって、アプリ作成のハードルを下げることができる。また、コード作成の時間が大幅に短縮できる。

・活用場面：出席を確認しなければならない場面。

・活用方法・ポイント：コードを作成する際に、条件を箇条書きにて作成する。その際、翻訳サイトなどを用いて、英語訳すると、AIに伝わりやすい。

活動の様子・プロンプト等
 メリット：受付には出席確認の名簿が必要であった。しかし、このアプリを使用するとSDGsの観点から紙資源削減ができる。また、受付担当の教員を減らすことができる。
 デメリット：スマホなどを持っていない生徒や保護者に対して、従来通りの紙面による対応が必要である。

